

中学部P K合戦試合規定(2015)

用具・コート

1. サッカーボール4号球を使用する。
2. ゴールは、高さ2m、幅3mのミニサッカーゴールを使用する。
3. P Kマーク（×印）をゴール中央から7mの位置に設ける。
4. ゴール中央にカラーコーンを置く。

プレイヤー

5. 原則として、1チーム5名以上で構成されていること。2名以下の場合は、0対10で相手チームの不戦勝とするが、両チーム合意の上、交流戦として試合を行うことはできる。
6. 1チーム3～4名の場合は、試合前に審判を介して相手校に承認を得ることができれば試合を行うことができる。その場合、3～4名で10本を均等に配分し、10本対10本で試合を行う。
7. 1チーム3～4名で相手校に認められなかった場合は、1～2名分を失敗扱いとし、8本対10本または6本対10本で試合を行う。その場合、失敗を1本目と6本目、または1、2本目と6、7本目とする。
8. 中学部スポーツ大会の他の競技との併用出場はできない。

試合

9. キャプテンのじゃんけんで先攻後攻を決める。セットごとに先攻後攻の変更はしない。
10. 審判の笛の合図でP Kマーク（×印）からボールを蹴る。笛を吹く前に蹴った場合は、再プレーとする。
11. ボール置きの使用は自由とするが、ボールの方向を決めたり、転がる勢いを高めたりする目的の物は使用禁止とする。
12. 1セット5本で2セット合計10本をお互いのチームが交互に蹴り、成功数が多いチームの勝ちとする。
13. 同点の場合は、先に失敗をしたチームの負けとする。
14. 10本すべて成功、または失敗した時が同じで同点の場合は、1セット目の1番から勝敗が決まるまでサドンデスを行う。サドンデスでの成功数は、総得点に含まない。
15. ボールが完全にラインを通過した場合、ゴールを認める。
16. 1セット終了時にメンバー交代をすることができるが、順番の変更はできない。
17. グループごとのリーグ戦方式で行う。
18. グループ内で勝敗数が同じ場合、「総得点→直接対決の結果」の順で順位を決定する。
19. 選手は一人で蹴ることを原則とする。必要に応じてコーチは介助することができるが、過度な補助が見られた場合は、審判の判断で注意をする。
20. 審判に対する抗議は、監督（1名のコーチ）のみが行うことができる。ただし、審判の判定には必ず従わなければならない。